

# 株式会社 石狩レッドフェニックス

代表取締役 球団代表 <sup>おいだ</sup>老田 <sup>え</sup>よし枝さん



2022年坪井監督就任会見の様子  
(老田さんは向かって右)



2022年度北海道男女平等参画チャレンジ賞受賞時の様子  
(老田さんは左から2人目)

## 球団概要

石狩レッドフェニックスは、プロ野球独立リーグ、北海道フロンティアリーグ（HFL）に所属している球団です。「レッドフェニックス」の由来は、レッド（英語で赤）とフェニックス（ギリシア語で赤）で同じ意味を示しているということと、伝説上の鳥であるフェニックスが「死んでも蘇り、永遠の時を生きる鳥」であることから、負けても立ち上がり、勝ち続けるチームになるよう願いを込めてこのような名前となりました。

野球人として日本野球機構（NPB）をはじめとした上のレベルを目指しながら、社会人として石狩市内の会社で就労し、地域に貢献する球団として2020年5月に石狩市でチームを立ち上げ、2021年には北海道ベースボールリーグ（HBL）に参戦しました。

2022年からは、当時HBLに在籍していた美唄ブラックダイヤモンドズと士別サムライブレイズを含めた3チームでHFLを発足し、監督に阪神タイガースや北海道日本ハムファイターズでも活躍された坪井 智哉氏を招へいし、2年目のシーズンを迎えています。

また、チームの守護神・フェニックス君が待望の着ぐるみとなって2023年4月に行われた球団の決起大会で初のお披露目となりました。

着ぐるみは球団が実施したクラウドファンディングにより実現した、まさにファンからの贈り物です。

「石狩レッドフェニックス」についての詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。<https://i-red-phoenix.com/>



←石狩レッドフェニックス  
球団ホームページはこちら



2023年度の球団決起大会の様子  
(老田さんは向かって右)

## 石狩市にプロ野球球団を立ち上げることになったきっかけ

10 数年間アメリカで暮らしていたのですが、医療費が高額なため、とにかく病気をしないようにと栄養について学び、家族の健康維持に努めていました。そんな中、たまたまテレビでアスリートフードマイスターという資格を知り、野球に夢中になっている息子達の食事作りに役立てようと3級の資格を取得しました。するとやる気に火がついて、上位資格に挑戦するため本格的に栄養学を学び、2級と1級を取得し、北海道のアスリートをサポートする体制を強化する(株)フェニックスサポートを2018年に設立しました。もともとは息子達をサポートするために始めたことが、思いがけず起業につながりました。

同年、雪の多い北海道の冬でも、思う存分野球をはじめとした屋外スポーツの練習ができるよう、石狩市に室内練習場「フェニックスフィールド」を作りました。皆様にご活用頂くなど、野球を中心としたスポーツ関連の仕事で人脈が広がり、栄養を指導する立場として独立リーグの立ち上げに携わるなか、思いがけず球団代表になることとなりました。



フェニックスフィールド外観



グラウンド

フェニックスフィールドについての詳しい情報は、Webサイトをご覧ください  
<https://www.phoenix-field.com/>



↑フェニックスフィールドのホームページはこちら

## 大変だと感じること

球団の立ち上げや運営は、まさしくゼロからのスタートで、手探りですべてを築き上げました。全く経験のない球団運営は、本当に大変ですが、石狩市の地域活性化と、若者の夢を応援するという2つの目標に向け、日々奔走しています。行政や地元企業に何度も粘り強く足を運ぶことで、熱意を汲んでいただき、協力を得ることで、全国から選手や球団職員を募集して石狩市民として受け入れ、選手達が野球に打ち込める環境を作ることができました。

## 喜びを感じること

独立リーグの選手達は「石狩市」の名前を背負い、全力でプレーしてファンに夢を与え、挑戦を続けています。さらに地域の労働力として市内で働きながら練習し、試合に臨むという生活のなか、試合で活躍することに加え、オフシーズンを利用し、選手たちが講師となって野球教室を開講するほか、冬場に高齢者宅の除雪を行うなど、様々な形で地域に貢献する活動を行うことで、まちに活力を与えてくれています。

また、球団の寮では、しっかりと栄養が摂れるように、配膳業者の協力を得て献立と食材を用意してもらい、選手達が交代で調理しています。

チームが結果を出すことはもちろん嬉しいのですが、人生を懸けてひたむきに夢を追う選手達を応援できることが私の原動力になります。NPBを目指し挑戦し続ける選手達を経営者として支えつつ、彼らが社会人としても人間としても成長できるよう見守っています。

## ある一日のスケジュール



起床  
息子たちのお弁当づくり

5時



自宅を出発

6時30分



石狩市青葉公園野球場に到着  
試合会場の設営準備等を行う

7時30分



第一試合開始  
試合後に行うイベントの準備

10時



試合後のイベントの進行を  
行う

12時30分



第二試合開始

14時



第二試合終了  
後片付けを行う

17時



帰宅

18時30分



夕食  
翌日の下準備等を行う

19時30分



就寝

23時

### 今後について

石狩市のみなさまに感動を、そして野球が好きな子ども達に夢を与えられるよう、「石狩レッドフェニックス」と「北海道フロンティアリーグ」の知名度を上げ、いずれは日本全国の独立リーグと肩を並べられるようレベルアップし、北海道の野球をもっともっと盛り上げていきたいです。彼らが活躍する姿を見て、子ども達も将来に大きな夢を描きチャレンジしていく、そんな存在になれたらと思います。

### 将来の職業について悩んでいる人へのメッセージ

私は、民間企業を退職後、結婚、子育てののちに海外から帰国し、アスリートフードマイスターという資格を知り、野球に夢中になっている息子達の食事作りに役立ててサポートしたいという思いで資格を取得したことをきっかけに、こうして起業するに至りました。一生懸命に頑張れば、絶対に同志ができ同じ夢を持っている人が集まります。諦めずに前進するのみで、失敗したらそれを糧にもっとジャンプできます。そして常に謙虚に、向上心を持つこと。人生は何が起こるかわからないけれど、困難も楽しんでいきましょう。